

淡路地域 都市計画区域マスタープラン（概要）

目標年次

「ひょうごビジョン2050」の展望年次である令和32年（2050年）の都市の姿を展望しつつ、目標年次を令和12年（2030年）とする

地域の魅力・強み

- 都市近郊の島
- 歴史的背景とストーリー性
- 自然の恵み
- 盛んな農畜産業・水産業

地域の課題

- 土地利用
都市機能の維持や既存市街地等への計画的な誘導
開発需要に対応した土地利用規制・誘導、交通インフラ整備
- 巨大地震の災害リスク
南海トラフ地震発生に伴う強い揺れや津波浸水のおそれ
地区防災や災害時用支援者対応などきめ細かな対応
- 人口減少・高齢化に対応した地域活力の維持
空き家等の管理、日常生活の利便性の確保
集落でのコミュニティや生活環境の維持
- 水害のリスク
洲本川、三原川水系等の流域全体での総合的な治水対策

目指すべき都市構造

- 各市の地域拠点間での都市機能の相互補完と神戸市や徳島県などの地域外との連携強化による広域での都市機能の確保
- 交流人口の増加や地域の活性化に向け、滞在型観光等の広域的な交流を促進



区域区分の決定

都市計画区域	洲本、淡路、南あわじ
区域区分の有無	無（非線引き）

都市づくりの重点テーマ

- 津波・高潮対策の推進
- 大阪湾ベイエリアの活性化
- 地域資源の積極的活用
- 集落の地域コミュニティ維持

都市づくりに関する方針

(1) 土地利用に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 山並みや海岸線、生活文化や産業等を生かしたまちづくりを重層的な土地利用コントロールにより推進 〔IC周辺、国道等の沿道等では、地区計画等を活用した計画的開発を誘導〕
(2) 都市施設に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 海路や空路を含む多様な移動手段による広域交通ネットワークを形成 ➢ 大鳴門橋における自転車道整備など自転車利用環境の整備推進 ➢ コミュニティバスの運営やデマンド交通の運行支援など、地域の状況に応じた移動手段の確保 ➢ 民間事業者との連携による都市公園の魅力向上 〔慶野松原等の自然環境の保全／史跡や文化財と一体となった身近な緑や水辺を保全／治水・利水、生態系、景観等に配慮した河川整備〕
(3) 市街地整備に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存市街地での都市機能の充実及び古民家等の空き家等を活用した観光交流等の促進 ➢ 漁業集落等の密集市街地における地区の特性に応じた災害に強い市街地の整備 〔「夢舞台サステナブル・パーク」において、医療・産業等の複合的な拠点形成を促進〕
(4) 防災に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 緊急輸送道路の整備や橋梁の耐震化等による緊急輸送体制の確保 ➢ 建築物の耐震化・不燃化、上下水道等のライフラインの耐震化を推進 ➢ 「兵庫県高潮対策10か年計画」に基づく防潮堤高上げ等の推進 〔総合治水条例に基づく治水対策／災害レッドゾーンにおける市街化の抑制〕
(5) 環境共生に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自然・田園環境における「農」と調和した計画的な土地利用を誘導 ➢ 森林の保全、それに貢献する都市における森林資源の活用を推進 〔ZEH等による住宅・建築物の脱炭素化〕
(6) 景観形成に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 津名丘陵や諭鶴羽山地、洲本川や三原川、周囲の海岸線等の美しい自然景観を保全 ➢ 淡路島特有の文化的・歴史的景観などの継承、花と緑あふれる「公園島淡路」の魅力あふれる景観を創造
(7) 地域の活性化に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 食のブランド、サイクルツーリズム、海洋性レクリエーション等を生かした観光交流・五斗長垣内遺跡等の日本遺産を生かした誘客を推進 ➢ 集落の地域コミュニティを支える拠点において、生活サービス機能の維持・集約 〔暮らしが持続する地域社会の実現を目指す「あわじ環境未来島構想」の取組の促進〕

対象地域

- 洲本都市計画区域（洲本市）
- 淡路都市計画区域（淡路市）
- 南あわじ都市計画区域（南あわじ市）

